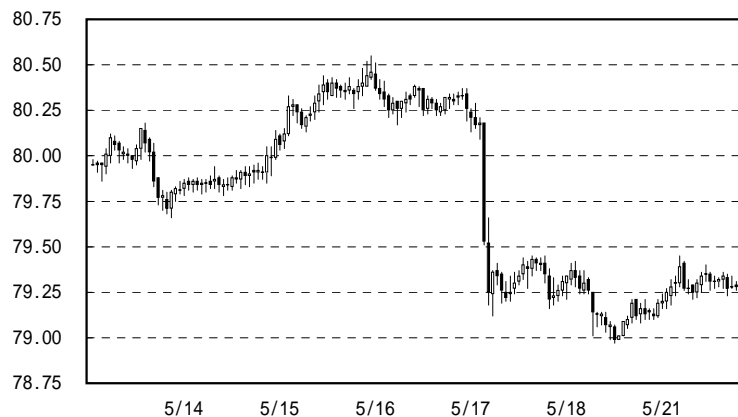


SMBC FX MARKET REPORT

三井住友銀行
市場営業推進部

2012年5月22日（火曜日）

米ドル/円相場推移



ユーロ円相場推移



【昨日の主要通貨レンジ】

(データ出所:ロイター)

	9:00	TKY	17:00	海外	CLS
ドル円	79.17/19	79.11-9.33	79.31/33	79.22-9.45	79.30/32
ユーロドル	1.2771/73	1.2757-813	1.2773/75	1.2725-825	1.2818/20
ユーロ円	101.11/14	101.01-1.42	101.31/34	100.94-1.70	101.65/68

【通貨オプション】 (NY CLOSE)

ボラティティ	1M ATM	(前日比)	1M R/R
ドル円	9.40%	(+0.25)	0.25JPY PUT
ユーロ円	14.00%	(+0.15)	2.95EUR PUT

【その他市場】

		終値	(前日比)
株式	日・日経平均	8,633.89	(+22.58)
	米・NYダウ	12,504.48	(+135.10)
	米・NASDAQ	2,847.21	(+68.42)
	独・DAX	6,331.04	(+59.82)
	英・FT100	5,304.48	(+36.86)
債券	日10年国債	0.855%	(+0.025)
	米10年国債	1.743%	(+0.022)
	米2年国債	0.290%	(-0.008)
	独10年国債	1.450%	(+0.026)
	英10年国債	1.852%	(+0.039)
商品市況	金(NY)	1588.70	(-3.20)
	C R B	289.80	(-0.63)
	WTI	92.57	(+1.09)

【昨日のトピックス】

< 東京時間 >

3月全産業活動指数…前月比 0.3% (予想 0.1%、前回 0.1%)

< 海外時間 >

ロックハート・アトランタ地区連銀総裁…

「ツイストオペが延長される可能性は低い」

「2014年終盤より前に利上げが実施されることは想定していない」

「失業やデフレトレンドが急激に悪化すれば、追加金融緩和を検討する」

【本日の行事・経済指標等】

< 国内 >

金融政策決定会合(5/22-23)

< 海外 >

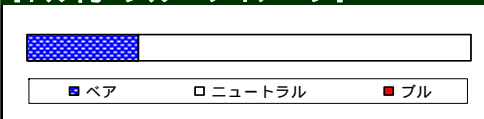
英4月CPI

米2年債入札

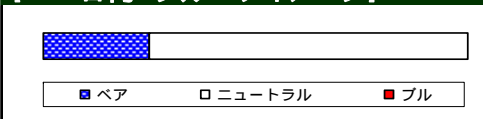
米4月中古住宅販売件数

ロックハート・アトランタ地区連銀総裁講演

【ドル円・ブルベアイメージ】



【ユーロ円・ブルベアイメージ】



*ブルベアイメージは弊行カスタマーディーラーに対するアンケート調査結果をイメージ化したもの

【為替相場動向】

リスク回避の流れは一服、ユーロ円は101円70銭まで上昇

東京時間のドル円は79円台前半、ユーロ円は101円台前半でスタート。先週末のG8においてギリシャにユーロ圏残留を促すことで一致したことや、23日のEU非公式サミットを控え、ポジション調整によるユーロ買いが優勢の展開。ユーロドルは1.27ドル台後半から1.28ドル台前半まで上昇し、ユーロ円も101円台で底堅く推移。一方、ドル円は79円11銭まで一時下落したものの、次第に底堅さが意識される中、夕方にかけてじりじりと上昇する展開となった。

海外時間序盤、目立った材料の無い中ドル円は79円台前半での小動き。堅調に推移していた欧州株が上昇幅を縮小するにつれユーロが軟化し、ユーロドルは1.2725ドルまで、ユーロ円は100円94銭まで値を下げた。しかし、NYダウが寄り付きから堅調に推移すると再びユーロ買い優勢の展開。ユーロドルは1.2825ドルまで、ユーロ円は101円70銭まで反発した。一方、ドル円は79円台前半での小幅な値動きに終始した。

本日より日銀政策決定会合が開催

昨日はリスク回避の動きが一旦後退し、ポジション調整と見られるユーロ買い優勢の展開となったものの、欧州問題に対する先行き不透明感は引き続き意識されやすく、ユーロの上値は限定的なものとなる。市場の関心は、23日開催予定のEU非公式サミットに移っている。緊縮策重視のメルケル独首相と、成長力強化を目指すオランド仏大統領との妥協点が話し合われる予定となっており、ユーロ圏共同債も含め、今後の欧州問題の方向性に影響を与える会合となる。また、本日から明日にかけて日銀金融政策決定会合が開催される。今回は追加緩和は無く、現状据え置きとの公算が大きい。株価下落や円高が続く中で、一部では追加緩和期待が高まりつつあり注意が必要である。

本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。

記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。